

## Applied Economics Intensive (Edinburgh) 2014

私は、夏休みに横浜国立大学経済学部主催で4週間のエディンバラサマースクールに参加しました。

留学が始まってすぐの頃はホストファミリーや大学の先生、お店の人などネイティブの人々との会話になると、自分の言いたいことが日本語から英語にすぐに変換できなかったり、覚えたはずの英単語がすぐに思い浮かばなかったりと、コミュニケーションがスムーズにいかずとても苦勞しました。しかし、ネイティブの人々と会話する機会を持てたのだから積極的に会話しようという思いから、自分から進んで話しかけました。ホストファミリーや大学の先生をはじめとする現地の人々は、英語能力がまだ充分でない私に対してとても優しく接してくれました。私がネイティブの人々が話す英語を聞き取れなかったときは、ゆっくりと分かりやすく繰り返して話してくれました。そうしていくうちに、だんだんと自分が言いたいことを英語ですらすら話せるようになっていたり、相手が話す英語が多少早くても聞き取れるようになりました。相手とのコミュニケーションが思うようにいかなくても、諦めないで本当によかったと思っています。

また、大学の授業では、英語だけでなく、経済についてやスコットランドの文化についても学ぶことができました。英語でのディスカッションやプレゼンテーションは日本ではなかなかする機会がないので、とても勉強になりました。特に、スコットランド独立に関する議論については皆と深い議論ができました。

初めての海外留学で不安も多かったけれど、留学を通して貴重な経験をすることができました。この経験を生かして、これからも勉強を続けていきたいです。(M.O.)

-----

最初にエジンバラ大学サマースクールのプログラムを聞いたときに参加したいと決めました。エジンバラ大学自身の魅力もあると思いますが、そのほか最も重要なのは完全なる英語環境で勉強できる点です。私にとっては初めてのヨー

ロッパなので不安もありましたが、それ以上にわくわくして出発日を待ち遠しく感じました。

旅立ち何ヶ月前からミーティングをしていて、プログラムのことからホームステイ先、ビザのことも含めて先生が全部フォローしてくれて大変助かりました。事前にホストファミリーと連絡を取り合ったり、サマースクール参加者の皆さんと話し合ったりしたこともすごく楽しかったです。留学生として入学したので日本人友達があまりいなかったが、今回のサマースクールを通して一気に増やしました。

サマースクールの内容はすごく充実しており、ひたすら授業を受けるだけではなく、ツアーやソーシャルイベントもいろいろ用意されていました。二人の先生が面白くて、授業の雰囲気がとても良かったです。あくまで学生を中心とした授業なので、生徒の間で討論を行ったり、最終プレゼンに向けての準備も全部生徒同士で決めます。先生にいつも適切な指導をいただけたおかげで、発表までのアンケートとデーター分析はスムーズに行きました。アカデミックな英語は勿論、ネイティブとのコミュニケーション能力も鍛えられました。ホームステイ先の人も親切に接してくれましたし、行く前の不安は微塵も残らないぐらい楽しかったです。(T.Z.)

-----

私は高校生の頃から英語圏の国への留学に興味を持っていたので、経済学部  
の短期留学の説明会に行きました。しかし先輩方の話を聞いて半年・1年を異  
国の地で一人で過ごすことに不安を感じ、半ば留学を諦めていました。そんな  
時にこのエジンバラサマースクールの案内があり、1か月なら自分でも行ける  
かもしれない、ヨーロッパに行ってみたいと思い応募しました。

このサマースクールは現地集合・現地解散なので、飛行機や授業期間前後の  
ホテルなどは全て自分で手配しなければなりません。準備段階では、正直面倒  
だな、大変だななどと思っていましたが、今思えばとても良い勉強になりましたし、  
ロンドン観光など自由に決めることができ良かったと思います。反省  
点としては、航空券を予約するのが遅かったです。もっと早くから準備してい  
ればもう少し安く行けたのかなと思います。

実際に留学が始まってからは、全てのことが新鮮で楽しくあっという間に時  
間が過ぎました。ホームステイ初日は、とても緊張し、またホストマザーの英

語が聞き取れず早くもホームシックになりましたが、緊張したのは2・3日だけであとはホストマザーやルームメイトたちと楽しく夕食の時間を過ごせました。ルームメイトと互いの国の文化や食事、経済など色んなことを話し、時には3時間も食卓で話し続けた日もありました。本当に恵まれたホームステイ先だったと思っています。

授業は普段大学で受けている授業とは異なり、常に生徒の誰かが発言しているような参加型の授業でした。教室内では日本語禁止というきまりも英語を伸ばすために良かったと思います。授業以外でも、街を歩く・ホストファミリーと夕食をとる・交通機関を利用する・外食する…全てが英語を伸ばすチャンスでした。

このサマースクールは一生忘れないくらいとても貴重な体験でした。これからも英語の勉強を続けて、またスコットランドに行きたいです。(K.I.)

-----

エディンバラでのホームステイにはとても満足しています。私が滞在させてもらったのは60代の夫妻の家でした。彼らは留学前に質問をメールで訪ねると丁寧に答えてくれましたので、日本を出るときも不安がほとんどない状態で出発できました。

ステイ先はとても勉強しやすい環境でした。私のステイ先は街の中心部からバスで30分ほどの静かな住宅街でした。私がステイした家はwi-fiが設置してあって、学校の課題にも取り組みやすかったです。またその家には私以外の留学生も滞在していて、英語を話す機会にも恵まれました。他の生徒たちの滞在先にも他国の留学生が滞在しているケースが多かったようで、皆英語で話す機会に恵まれたと言っていました。

また、初日にお土産を手渡したら喜んでもらえました。何を渡せばいいか悩みましたが、渡したことでコミュニケーションが円滑にとれました。初日に家の決まりを、初登校の日には集合場所と学校への行き方を教えてもらったのですが、使うバスの番号や時刻表をメモで渡してくれたので助かりました。

私は夕食付のコースを選んだので、週に何回かホストファミリーと留学生と夕食を共にした。始めの内は相槌を打つだけで精いっぱいでしたが、しばらくすると自分から話すことができるようになりました。ホストファミリーは私に

話を振ってくれ、私が説明しようと挑戦していると必ず待つて聞いてくれたので、私も徐々に積極的に会話をするようになりました。

食事にもとても満足しています。正直イギリスの食事はおいしくないというイメージがあったので食事について不安がありました。外食では確かにおいしくないものもありましたが、自宅を出してもらったものはどれもおいしかったです。他の生徒たちも自宅で食べる食事については満足しているようでした。

ホームステイでとてもよかったと思う点は、語学力が向上しただけでなく、性格が前向きになったことです。私は人見知りでしたが、ホームステイを通じて初対面の人とも明るく接することができるようになりました。例えば、家には時々ホストファミリーの家族が訪れたのですが、私は彼らとの会話をとても楽しむことができました。彼らの人柄がよかったのももちろんありますが、英語で初対面の人と長時間話す、というのは私にとっては大きな進歩でした。親切なホストファミリーのおかげで、教室でも英語を話すことができたのだと思っています。今考えてもとてもいいステイ先に恵まれました。(M.K.)

-----

はじめに

今回このサマースクールに参加して、英会話、異文化交流、英語での経済学用語など、多くのことを経験することができました。それらをいくつかの項目に分けて説明します。

サマースクール開始前

今回は、現地集合・現地解散だったのでサマースクールが始まる前にロンドン観光を行うことにしました。航空券やロンドンでのホステルの予約などで不安なことは多少ありましたが、先生のご協力もあって存分に楽しめました。自力での海外渡航は初めてだったので勉強になりました。英会話の面で言うと観光は良いウォーミングアップになりました。

ホームステイ

ホームステイで家にいるときはホストマザーとよく話しました。当初は自分の英語が通じるのかどうか不安でしたが、意外と通じることがわかり自信を持ちました。実際のところは、ジェスチャーや単語レベルの会話でも成り立ってしまうのですが、なるべくちゃんとした文章・文法で話すように努力しました。ホームステイより学生寮の方がリラックスできたかもしれませんが、きっと友人と日本語でばかり話してしまっていたと思います。

## 大学での授業

エジンバラ大学での授業は有意義なものでした。なかでも今回のサマースクールの集大成とも言える、**Research Project**では、ペアワークでプレゼンを行い、英語での発表の仕方を学びました。英語で経済用語も学べて、経済学部生として言った甲斐がありました。

## おわりに

渡航前の私の一番の目標かつ不安要因はスピーキングでしたが、今回のプログラムで自信が持てました。今一番感じるのは、私が英語を話せなかった理由は、話す自信がなかったからだということです。その意味でも、今回のエジンバラサマースクールに参加して本当に良かったです。これからも本学の留学生などと積極的に英会話をしていきたいです。(M.S.)

-----

今回のサマースクールに参加してもっとも経験になったのは、一か月間英語に囲まれて過ごすことができたということです。授業だけでなく日常生活も当たり前のことではありますがすべて英語に囲まれていたので、英語に対して苦手意識が強かった私も自然と英語を使えるようになっていたと思います。とにかく英語に囲まれていたということが私にとっては良い経験となりました。

サマースクールでお世話になった先生方はとても親切でありながら発音などあいまいであったり間違えていたりしたところは辛抱強く教えてくださいました。スコットランドの文化をはじめとしたイギリスの文化や社会についても楽しく学ぶことができました。

ホームステイ先のご夫婦はとても親切な方々で、最初こそ自分の英語力に自信が持てずあまり話すことができない日もありましたが、最終プレゼンテーションのスク립トの校正なども手伝って下さいました。また、趣味のウォーキングと一緒に連れて行ってくださったり、スコットランド独立選挙に関するTV見ながらその要点を教えてくださいと普通の日常に楽しみを加えてくださいました。

滞在したエディンバラは歩いているだけで「ヨーロッパの街並み」という空気を味わうことができる街で、休日にはいろいろなところへ各々が出かけていました。ちょうどフェスティバルの期間だったこともあり、通りにはパフォーマンスをしている人や、多くの観光客でにぎわっていたことも、ただ歩いているだけで楽しかった要因だったと思います。美術館等が基本的に入場料無料だったので、思う存分ヨーロッパを中心とした絵画を楽しむことができました。エディンバラ城やカールトン・ヒルなど街を見下ろせるところもあり、様々な角度から街を味わうことができたのも良い経験でした。

自分の英語力に不安はともありましたが、このサマースクールに参加できたことは自分を強くする大きな一歩になりました。(M.M.)

-----

今回のエディンバラ大学への短期留学では様々なことを体験し、学ぶことができました。

僕自身、初めての海外での生活でしたが、とても貴重な経験であったと思います。

エディンバラ大学での授業は、講義形式ではなく、先生と生徒が双方向で対話できる形をとっており、日本での授業とはかなり違う形式でしたが、先生はゆっくりはっきりと話してくれて、とても理解しやすい印象を受けました。授業の内容も経済的な事柄を扱い、英語での経済の知識を学びました。リスニングやスピーキングの授業では、はじめのうちはなかなか聞き取ったり、話したりすることができなかつたのですが、授業を追うごとに少しずつ上達していくのが感じられました。リサーチプロジェクトでは大学の外をでて、街の人にインタビューしました。その結果をパワーポイントでまとめて、プレゼンする作業にはとてもやりがいを感じました。授業の中でプレゼンをする機会は何回かあったので、やるたびに自信になり、英語でのプレゼンは表現の仕方などが難

しく、内容も暗記しなければならないので、大変でしたが、終わったときは達成感で胸がいっぱいでした。

授業以外でもエディンバラでの生活はとても充実していました。街全体が世界遺産となっていて、石造りの建物や教会、道路など風情溢れる街並みでした。また、街自体はそれほど広くはなく、大学から歩いて行ける距離に観光名所がたくさんありました。交通網も発達していて、10分に一本の割合でバスが通っており、中心街から空港までも今年完成したばかりの路面電車が走っており、とても便利でした。

1ヶ月の留学生活はあっという間でしたが、とても充実していたと思います。街自体も素晴らしく、また訪れてみたいと思いますし、この経験をいかして英語学習をさらに充実させていきたいと思います。(R.Y.)

-----

スコットランドの首都、エディンバラは興味深い歴史と美しさをもつ、全体が世界遺産として登録されている街です。8月には世界中から芸術家が集まり、有名なフェスティバルが開催され、1年で最もエディンバラが活気に満ちる時期です。そんな8月11日から9月5日までの4週間、わたしはエディンバラ大学でのサマースクールに参加しました。

授業で印象に残ったのは、レポートを書く、プレゼンテーションをするなどのアウトプットが非常に多かったことです。授業は **Academic**、**Culture**、**Research Project** の3つのセクションに分かれています。**Academic** ではフリートレードや **MINT** 等新興国市場など、経済に関する記事を読みディスカッションをするのですが、毎回最後に自分の意見を述べるレポートの課題が出ます。**Culture** では、**Dragon's Den** (英国版マネーの虎) を模した新商品のプレゼンや仮想の途上国開発の予算会議など楽しかったのですが、自分の意見を整理して魅力的に相手にスピーチするのは非常に大変でした。**Research Project** はこのサマースクールの集大成で1番労力を費やしました。各ペアがテーマを決めて街の人にインタビューをして結果をプレゼンします。街の人は外国人ですし、私たちの事情など知らない一般の方なので、コミュニケーションが大変でしたがとても良い経験でした。サマースクールの最後の時間のプレゼンのために、より興味をひくような言い回しはもちろん、イントネーションや態度など注意されて何度も何度も練習して、本番思い通りにできて先生から好評をいただき

たときはとても達成感を感じました。レポートやプレゼンが重なってハードでしたがその分力が付いたと思います。

このサマースクールを通して、授業で英語が鍛えられたのはもちろん、エジンバラの街や、ホームステイファミリーとの交流、**Skye** 島などたくさんの思い出と貴重な体験ができました。日本にいと知覚できないことも、実際にそこで生活することで理解できたりします。スコットランド人の暖かさと誇りを知った後では、イギリスという国の見え方が変わってきます。このサマースクールをきっかけにさらに自分の語学を磨いて、多角的にものを見る人間になりたいと思います。(Y.K.)

-----

今回のプログラムに参加したのは、世界でトップレベルの大学であるエジンバラ大学で勉強できることに興味を持ったからです。自分は海外経験がなく、英語力も人並みにしかなかったのですが、エジンバラ大学にいてみたいという思いで参加を決めました。

大学の提供する授業では、議論、プレゼンをメンバーと一緒にこなしていき、これを一か月間継続することで徐々に話せるようになりました。インストラクターの方も自信を持つことが大事だとおっしゃっていたのですが、実際、今回はいつもよりもしゃべれたと自信が持てた瞬間に成長した気がします。それを重ねていった結果、間違えながらもプレゼンでの質疑応答にきつと答える程度の力をつけることができました。

授業の中でも、プレゼンテーションについての指導が特に印象的でした。テーマは小さく、一般的な話題から始め、オーディエンスを惹きつける工夫をすることなどプレゼンの基本的なことを叩き込まれ、帰国後、日本でプレゼンをする際にもこの経験が生きているのを感じます。

授業外でよく行ったのは、イギリスの居酒屋であるパブです。ステイ先や大学にいただけでは留学生やホストファミリーとしか話せないのですが、パブではいろんな年代と色々な職業の人がいました。自分がもっと英語ができればお店にいる人ともっと話せたのにといい思いのまま帰国することになりましたが、次回海外に行く際の目標ができました。

英語でコミュニケーションをとれるようになるための最初のステップとして、海外に一か月間滞在したことはとても有意義だったと感じています。ま



た、深い議論をすることができるほどの英語力を身に付けられなかったことが自分の今後の課題であり、今後は日本にいる留学生と積極的に交流していきたいと思っています。(K.T.)

-----

エディンバラで過ごした4週間は私にとってとても特別なものだった。様々なものを見て、体験し、大切な思い出もつくることができた。実際のところ、このサマースクールに参加する前は、参加しようかどうか迷っていた。しかし、迷うくらいならいっそのこと行ったことのない外国に飛び込んでみようと思ひ、参加することにした。後で考えれば私のこの選択は大正解だったと思う。

エディンバラでは、現地のご家庭にホームステイしながらエディンバラ大学に通っていた。私がホームステイしたお宅は、優しい **nana** と **papa** の夫婦のお宅だった。週末には、7歳と3歳のかわいいお孫さんも遊びに来て、とても楽しい家庭だった。初めてのスコットランド滞在で戸惑っていた私に、まるで自分の子供に接するように暖かく接して下さり、本当にありがたかった。**Nana** が毎日作ってくれるご飯はいつも美味しく、大学の授業が終わるといつも今日の夕飯を楽しみにしながら「家」に帰っていた。私のお気に入りのメニューはラザニアにラビオリ、スコッチパイにスープ…挙げたら本当にきりが無い。**Nana** と **papa** はインド出身ということもあり、本場のインドカレーを作ってくださったこともうれしかった。夕食後は、**nana** や同じ家にステイしている他の国の人たちとお互いの国について話すなど、視野を広げることができた。時に遅くまで話し込みすぎて **nana** に叱られることもあったが…

エディンバラに着いてから最初の一週間は、台湾からの添乗員の方と一緒にステイした。本当に優しい方で、エディンバラに来て右も左もわからなかった私に、バスの乗り方を教えてくれたり、学校へ一緒に行ってくれたり、親切にしてもらった。

最後の2週間は、スペインから来た親子と一緒にだった。この2人もとても優しい方たちで、今日あったことやお互いの国について話すうち、仲良くなることができた。日本について興味を持ってもらえ、私もスペインに興味があった。エディンバラを発つ前日には、スペインに遊びに来るときはいつでも家に泊まって行って、とまで言ってくれた。

私はエディンバラで異文化体験や英語の勉強にとどまらず、素敵なお人々に出会うことができた。この出会いは、一生ものだと思うし、この出会いを大切に、より一層交流を深めていきたい。(J.K.)

---

私がこのサマースクールに参加したのは、あこがれのイギリス文化に実際に触れたいという気持ちからでした。初めての海外でたくさん不安はありましたが、エジンバラはとても過ごしやすく、大学のプログラムを通じていろんな国の学生や、現地の人ともたくさんの交流ができ、本当にたくさんの貴重な経験をしました。ちょうど私達が滞在していた頃、エジンバラでは **fringe** など世界でも有名なフェスティバルが開催されていて、エジンバラ中が活気づいていました。

私がステイしたホストファミリーは 11 歳と 5 歳の女の子がいました。一緒に食卓を囲む時は常に話が絶えず、彼女達は歌とダンスをいつも披露してくれました。たわいのない会話からでも日本とは違う学校生活や日常の生活を知ることができ、生きた文化にふれたようでとても印象に残っています。ホストマザーは社交的な人で、毎日彼女の親戚や友人が訪れていて、スペイン、トルコやポーランドの人とも話すことができ、お互いに自国の紹介をしました。ホストマザーはスコットランドの言葉を教えてくれました。みんな私の話を丁寧に聞いてくれ間違いがあると訂正してくれたので、英語を話すことの楽しさを知ることができました。

授業は、少人数で常に積極的に授業に参加する形式でした。プレゼンに向けた実践的な英語表現や、経済の授業などどれも大変でしたが、発表を終えると先生がコメントをくださるので励みになりました。放課後は大学を出た通りでフェスティバルの様々なパフォーマンスを眺めたり、みんなでパブに行ったりと楽しみました。

渡英して初めのころは、不安で積極的に動くことができなかったのが、サマースクールを終える頃には興味のあること、場所に積極的に関わるようになり、大変自分でも驚いています。参加当初想像もしていなかったたくさんの経験をすることができ、本当に充実したプログラムでした。(M.F.)

---

今回の留学プログラムを経て私が感じていることは、「留学に興味があって、もし留学するかどうか迷っているのであれば、是非このプログラムに参加すべきだ。」ということです。

私の場合、過去に海外へ行ったことがなかったこともあって、イギリスでの体験は全てが とても新鮮に感じられました。勉強はもちろんのこととして、それ以外の多くの経験ができ、また現地の慣習などを実際に見聞きできたことは、大変有意義だったと思います。

私が留学したエジンバラでは、ちょうどフェスティバル（八月から約一か月開催される芸術祭）の時期ということもあり、エジンバラ市内は大いににぎわっていました。残念ながら私は途中で体調を崩してしまったため、フェスティバルを満喫し切れずとは言えませんが、多くの舞台を見ることができたので満足しています。

現地の生活で一番印象的だったのは、雨が降ったときの現地の人々の対応でした。ご存じのとおり、イギリスでは本当によく雨が降るのですが、多くの方は傘をさしません。日本だったら絶対に傘を差すような雨量でも、現地の方はフードをかぶって雨を意に介しません。雨が強ければ雨宿りするのが当然といった感じでした。また、日本のコンビニやスーパーのようにビニール傘を売っている店は少なく、傘を売っているお店を探すのは一苦労でした（あとすごく高いです）。

このような習慣の違いを実際に体験できることも留学のいいところだと思います。一か月と短い期間ではありましたが、その時間は非常に濃密で得るものの多い貴重な時間でした。留学がよい経験となるように頑張ってください。

(H.I.)

-----

私は、大学では留学したいなと高校生の頃から考えていました。しかし大学が行っている半年や一年間の留学のプログラムに参加するには1年前から申請しなければいけません。私は1年生の頃は申請していなかったので、もし2年生で申請したら、3年生で留学することになります。3年生は就職活動のこともあるしなあ、などと考え、だんだん留学に対する気持ちも薄れていきました。そんなとき英語の授業で1か月間のエジンバラサマースクールの話聞きまし

た。1か月で、しかも長期休み中に行くことができるため、迷わず応募しました。

私のホームステイ先には様々な国の学生が滞在していました。イタリア、スペイン、チェコなどの学生がいましたが、彼らはとても積極的で、学生同士でも、ホストファミリーとも話していました。最初はこんなに話せるのか、と驚きましたが、よく聞いていると英語がすごくうまい、というわけではなく、積極的に話しているということがわかりました。また彼らは日本人よりも単語力がありませんが、スピーキング力にたけているのだと感じました。日本の英語教育との違いなのかなとも思いました。私もあまり積極的に話すことができなかったのがとても残念でした。

このサマープログラムは、全員でエジンバラに向かうのではなくそれぞれで現地に集合するという形でした。私は海外渡航がほぼ初めてだったため、少し不安もありましたが、行きや帰りにほかの国に自由に観光に行くことができる点で良いと思いました。また自分たちで航空券をとったりするため、そこも勉強になりました。また他の国の英語を勉強する学生と交流することで、刺激も受けました。正直1か月滞在してみると、1か月では短すぎるという気持ちの方が大きくなりました。もし、機会があるならばまた海外に長期で滞在してみたいと思いますし、英語の勉強を続けたいととても思わされたプログラムでした。(K.K.)

私はエジンバラでの語学研修を通してさまざまな体験をすることができた。

その中で特に貴重だったと感じたことは、ホームステイ先での経験だ。

約一か月に渡るホームステイを経験したことで、現地の家庭での生活を密に体験、スコットランドの文化、経済状況などを知ることができた。私のホームステイ先の家庭では、夫婦と中学生の娘が暮らしていた。一週間後には、チェコ人とドイツ人の留学生も加わり、夕食時はとても賑やかだった。夕食での会話は、その日の出来事や、それぞれの国の状況、お互い何に興味があるのか、など議題はさまざまであった。はじめは、他の留学生に比べ、自分の能力が劣っているのではないかと不安を感じていたが、次第に思い浮かんだ単語を文章として並び換えることに慣れ、一週間の中で夕食を一緒に食べるのが日々の楽しみとなっていた。特にドイツ人の女の子とは仲良くなり、一緒に夕食後に散歩をしたり、買い物をしたり、週末には観光をした。今でも連絡を取り合い、交流を深めている。

私はもし今後また留学する機会があれば、長期留学をしたいと思っている。はじめは一か月がすごく長く感じ、文化などの違いから日本に帰りたと思ったこともあったが、最後はまだここにいたい、と強く思った。毎日大学へ通うために歩いていた街並み。大学で勉強していた教室。ホームステイ先の家。一か月過ごしたからこそ、ただの観光旅行ではなく、エジンバラという街への思い入れが強くなった。また話すことの大切さも改めて実感することができた。日本の英語教育は、スピーキングの教育が他国に比べ、劣っている。当たり前のことだが、会話ができれば意思疎通をするのは難しく、英語を日々話すという習慣が大切だと強く感じた。それが経験できた今回のプログラムはとても充実していたと感じた。今後は英会話を意識した学習や英語を話す機会を増やしていきたい。(S. I.)

短期留学をしたい。4年になれば就職活動の時期が伸びたことでこの機会は失われてしまう。これが最後のチャンスとしてエディンバラサマースクールの参加を決意した私は、主に2つのことを目標に掲げていた。1つ目はプログラム期間中の自身の会話はもちろん、思いつきから行動に至るまでの思考回路もすべて英語で行うことだ。普段は何気なくて意識しない思考までも英語にすることで、脳内から英語漬けにしようと考えたからだ。2つ目は失敗を恐れず、チャレンジすることをやめないことだ。1か月という短い期間は躊躇が一生の後悔に繋がると考え、これを目標として掲げた。

学校での授業は、毎週1回必ず全クラスに発表するプレゼンテーションがあり、プレゼン、スピーチの実践練習、グループワークが行われた。この分量がかなり多く、授業の大半を占めていたことが2つ目の目標をしっかりと成し遂げることに繋がった。加えて、ただの単語による発言ではなく、1文での質問体系をとることを推進する流れをつくってもらえたことで、これまでの日本語英語から抜け出し、正しい英語で話す癖を身につけることができた。

ホームステイ先ではなによりも1つ目の目標に積極的に取り組み、なにかを話しかけられて困って黙り込むということがなくなった。また最初は授業と比べて格段に早く癖のあるネイティブのホストファミリーとの意思疎通に苦労した。しかし、2つの目標をしっかりとこなしていくうちに、興味があるフェアトレードやスコットランド独立について意見を交し合えたことは、なによりも嬉しく達成感を感じることができた。

以上の経験は帰国後の私にとって大きな自信となり、さらなる英語学習への意欲を生んだ。また残された学生生活において、どのように時間を活用して勉強するか指針を見直すことができたことも成果であった。(K.W.)

---

僕にとってこのエディンバラサマースクールは、人生で初めての海外渡航の機会でした。そして今でも僕は、その初体験の地にエディンバラを選んだことは正解だったと感じています。

エディンバラの街の雰囲気は素晴らしいものでした。歴史ある建造物で形作られたその景観は、日本人の自分からするととても新鮮なもので、何度散歩に出掛けても飽きることはありませんでした。その上で、日常生活においては基本的に不自由なく暮らしていけるようなインフラや商業が揃っていて、治安に関しても不安を感じた記憶はありません。エディンバラは文明の発達と歴史の情緒が並存する快適な街でした。

授業に関しても満足しています。一言で言えば、とにかく英語を使う、使う、使う…。それは僕がまさに、日本での英語学習において物足りなさを感じている点です。こんなにも短期間で言語能力の上達を実感するという経験は、僕にとって初めての経験であり、驚くべきことでした。

ホームステイについては、むしろ一人暮らしの部屋よりも快適なくらいに良い環境でした。ステイ先の家も、ホストファミリーも、とても穏やかで暖かい品のある雰囲気で、ストレスを感じることはなかったと思います。おそらく僕はその点に関してクラスの中でも最も幸運な一人だったのではないかと思っています。あの家族に巡り会えたことに感謝したいです。

今回のエディンバラでの経験は、全体として言うまでもなく素晴らしいものでした。様々な点において快適であったことはもう述べたことですが、ただ快適だけでなく、刺激的な経験であったことも間違いありません。たくさんの未知の体験や新たな知識を得たことは勿論ですが、それ以上に世界には知らないことだらけだということを再認識できたのです。そのことが、僕の好奇心が焚きつけたことは言うまでもありません。(T.K.)

---

I attended Applied Economics Intensive at University of Edinburgh from August 8<sup>th</sup> to September 2<sup>nd</sup>. I chose this program as a start to study abroad. Through my stay in Edinburgh, I gained a lot of valuable experience. I realized that many things I learned were very helpful to my career. My main purpose of taking this course was acquiring English skill, especially speaking skill. As I wanted to be able to exchange ideas with people from all over the world by English, classes that included many chances to express my opinion made me get used to speak English. Pronunciation practice was also effective. I learned that speaking clearly with right pronunciation helped people to understand my English. The most impressive assignment was giving a presentation as a pair. Since making a presentation needed many kinds of tasks, I made good use of my skill that I developed during the course. It was not easy to explain what I wanted to tell by second language in front of many audiences. But teachers guided us to carry our presentations off. Tackling with a partner also made it easier to achieve hard tasks. When I finished to give my presentation, I could be proud of what I obtained through classes.

As well as language course at the university, I enjoyed stay in Edinburgh. As it was my first trip to go overseas, everything I saw was new to me. Staying with a foreign family was the biggest change in everyday life. My host family was very kind and patient with my poor English. I tried to communicate with them, and I exposed to real English. We could not get perfect understanding each other, but I was happy to get hands-on experience of English speaking and listening.

I spent most of my free time in sightseeing in Edinburgh. I went shopping, visited museums, and enjoyed the Edinburgh Festival. At the end of my stay, I came to love beautiful views of Edinburgh. (M.K)

